

北陸新幹線 敦賀駅前広場計画 (仮称)新幹線敦賀駅線 道路計画

敦賀市 木ノ芽町～中 地係

1

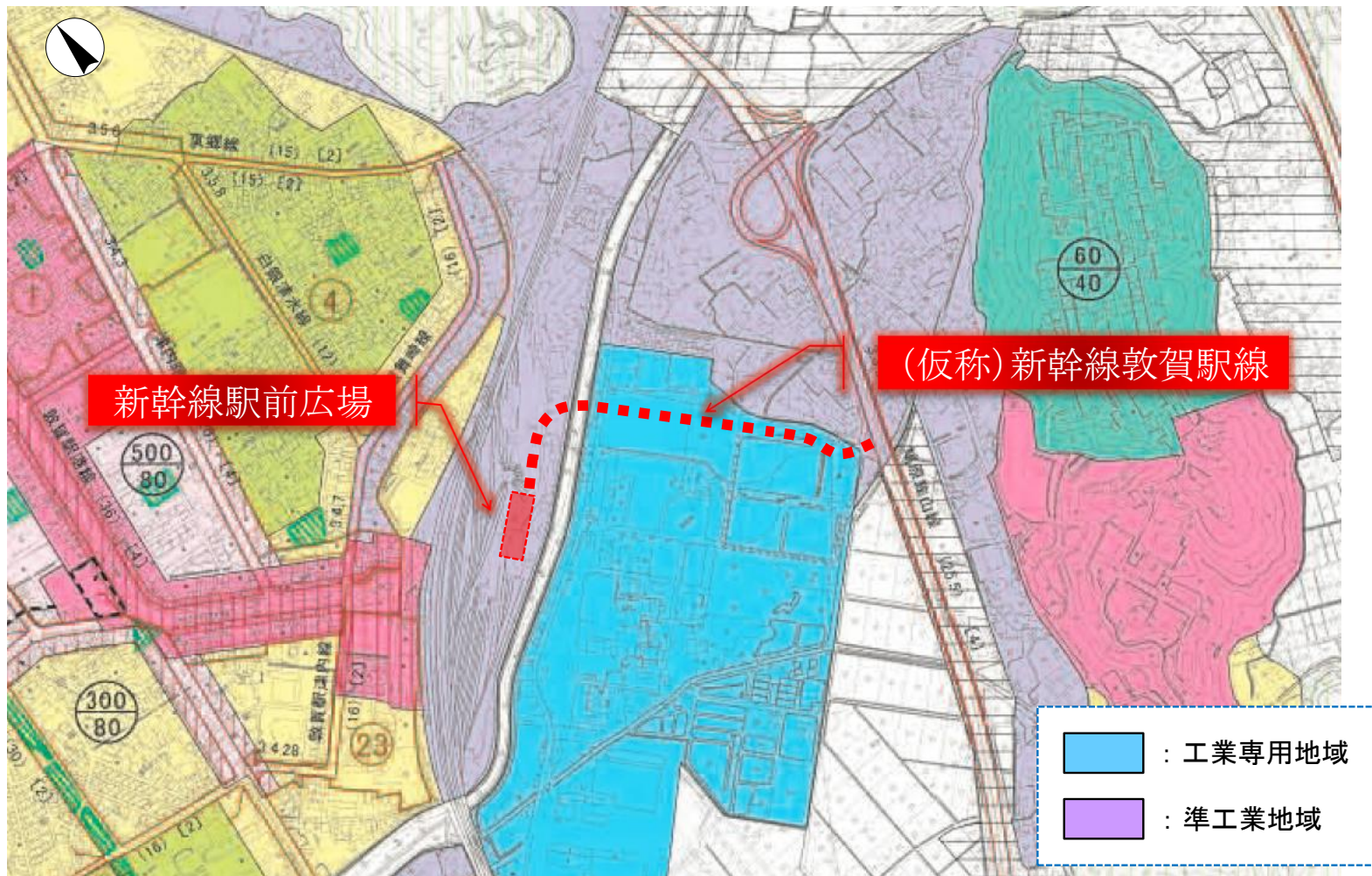
【目次】

- 1 計画位置 … 2
- 2 新幹線駅前広場計画 … 3～5
- 3 道路計画 … 6～11

1 計画位置

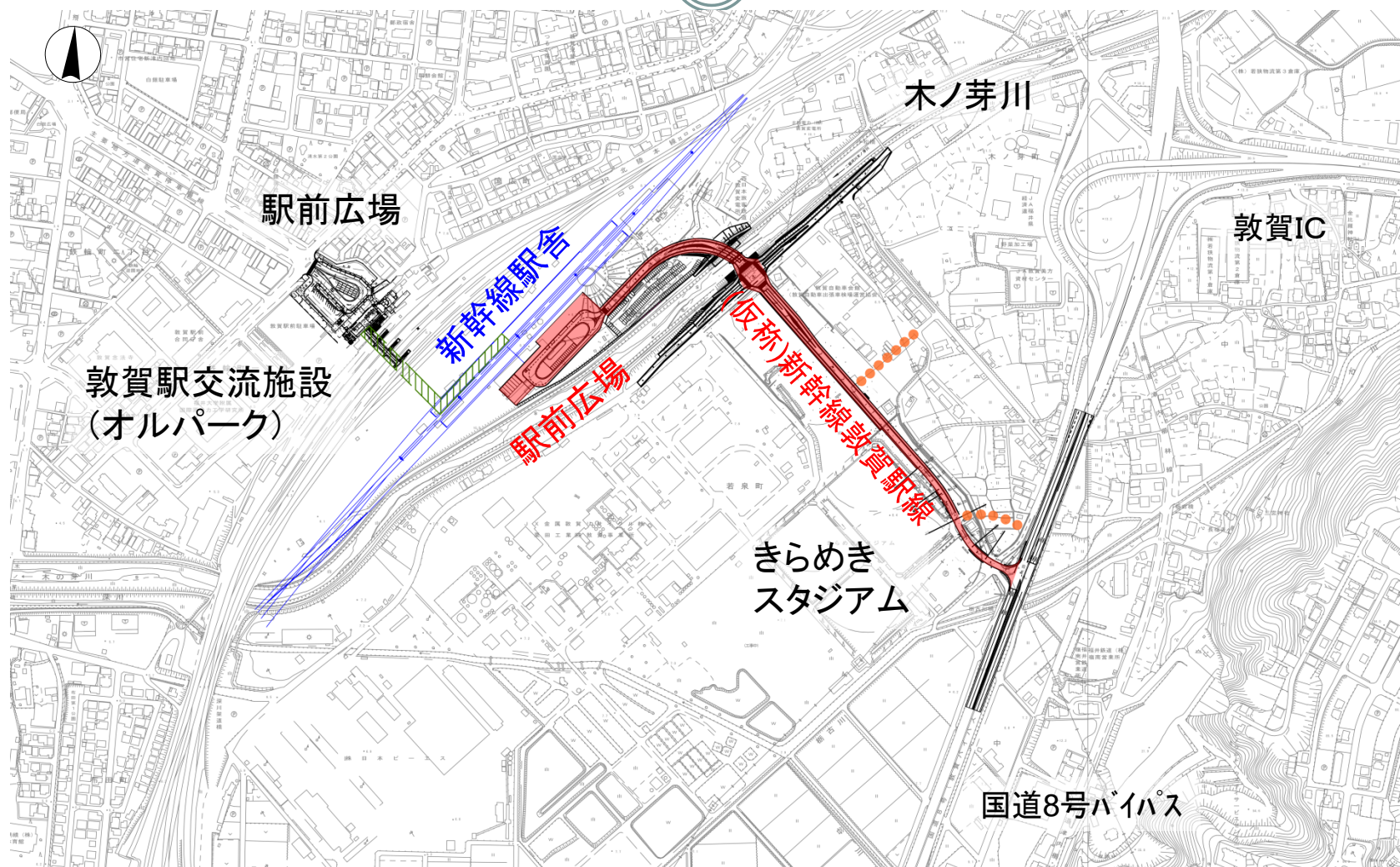
2

都市計画図



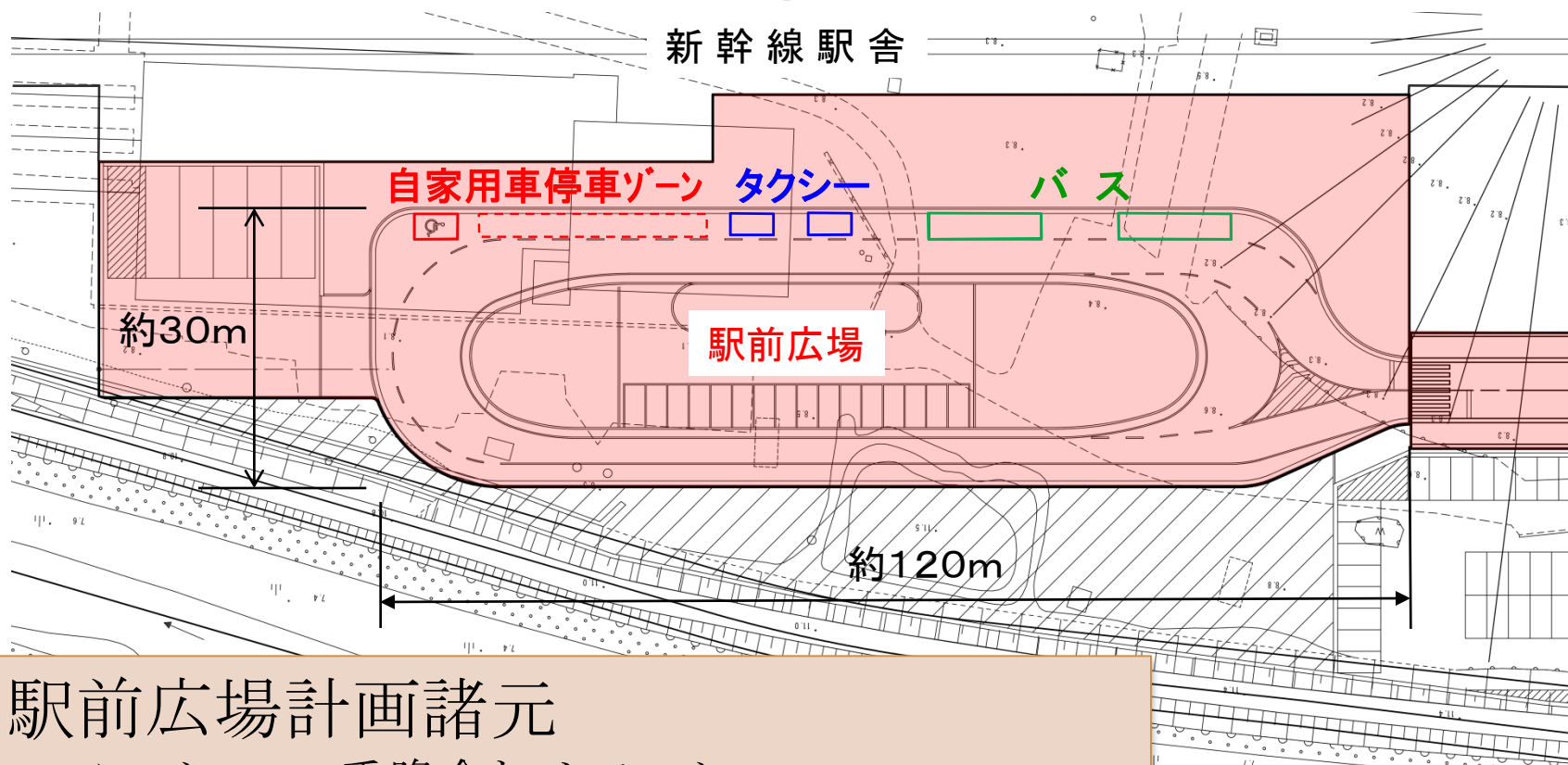
2 新幹線駅前広場計画

3



2 新幹線駅前広場計画

4

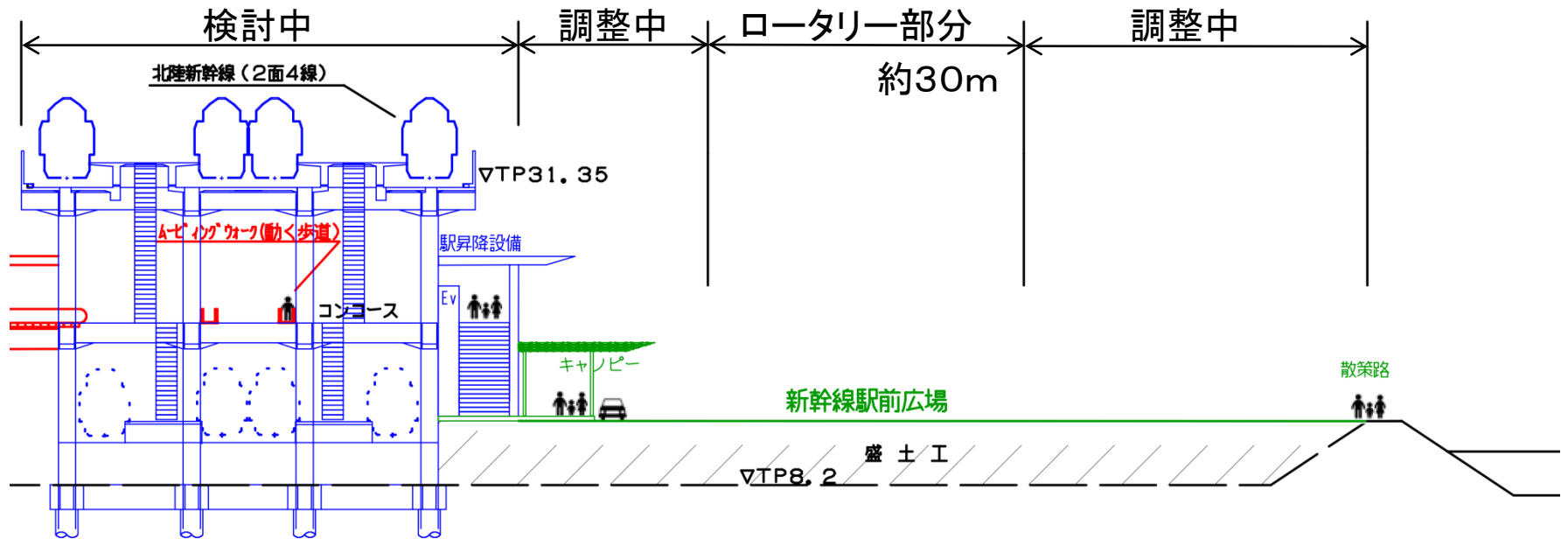


駅前広場計画諸元

- バス : 乗降合わせて2バース
- タクシー: 乗降合わせて2バース
- 自家用車停車ゾーン(障害者用停車場含む)

2 新幹線駅前広場計画

5



駅前広場の範囲については、JR、鉄道・運輸機構と調整中

駅前広場断面

➤ 現在の地盤が低いため、新幹線駅前広場に盛土を行う予定

3 道路計画

6

(1) 道路の位置付け

- 新幹線敦賀駅と国道8号バイパスをつなぐアクセス道路
- 敦賀市都市計画マスタープランで「高速道路IC～国道8号バイパス～JR敦賀駅を連絡する都心軸」に位置付け

(2) 道路計画諸元

- 道路延長：約700m（敦賀市木ノ芽町～中地係）
- 車線数：2車線
- 幅員：9.5m～12.5m（車道＋路肩＋歩道）
- 設計速度：40km/hr



※道路計画について、関係機関（公安委員会、JRなど）と協議中

3 道路計画

7

(3) 道路平面計画

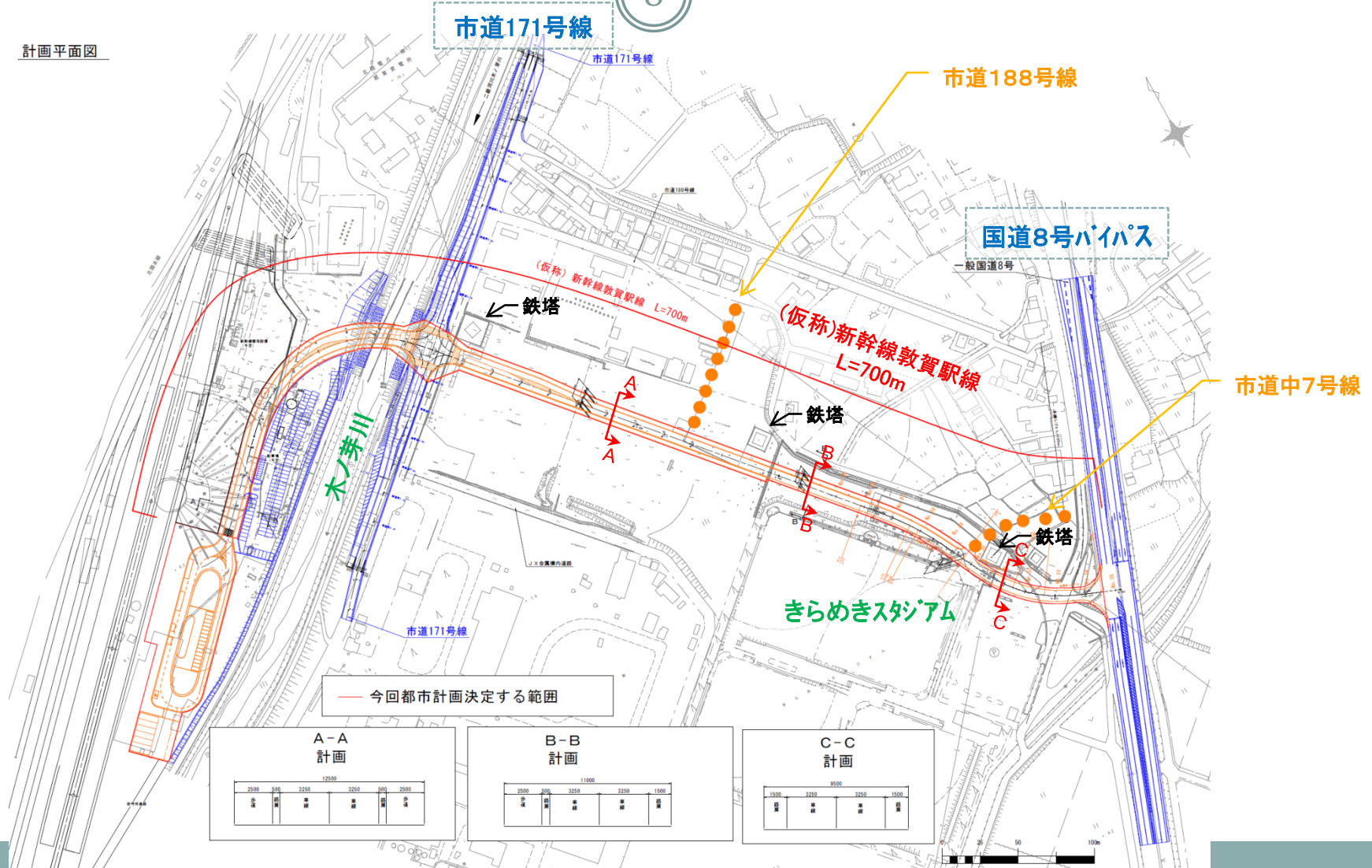
- ▶ 市街地から新幹線駅へのアクセス性を向上させるため、当路線と市道171号線は平面交差させる。
- ▶ 沿線地域のアクセス性を確保するため、当路線と市道188号線、市道中7号線を接続させる。
- ▶ 国道8号バイパスとの交差点は、ICから国道8号バイパスに合流した交通が、当路線の右折車線に移行するために必要な走行区間を確保できる位置とする。
- ▶ 鉄塔を避け、またきらめきスタジアムへの影響も極力避ける。
- ▶ 木ノ芽川とできるだけ直交させる。



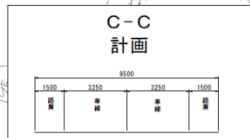
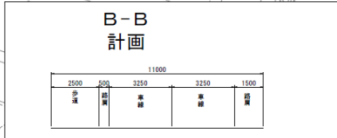
3 道路計画

8

計画平面図

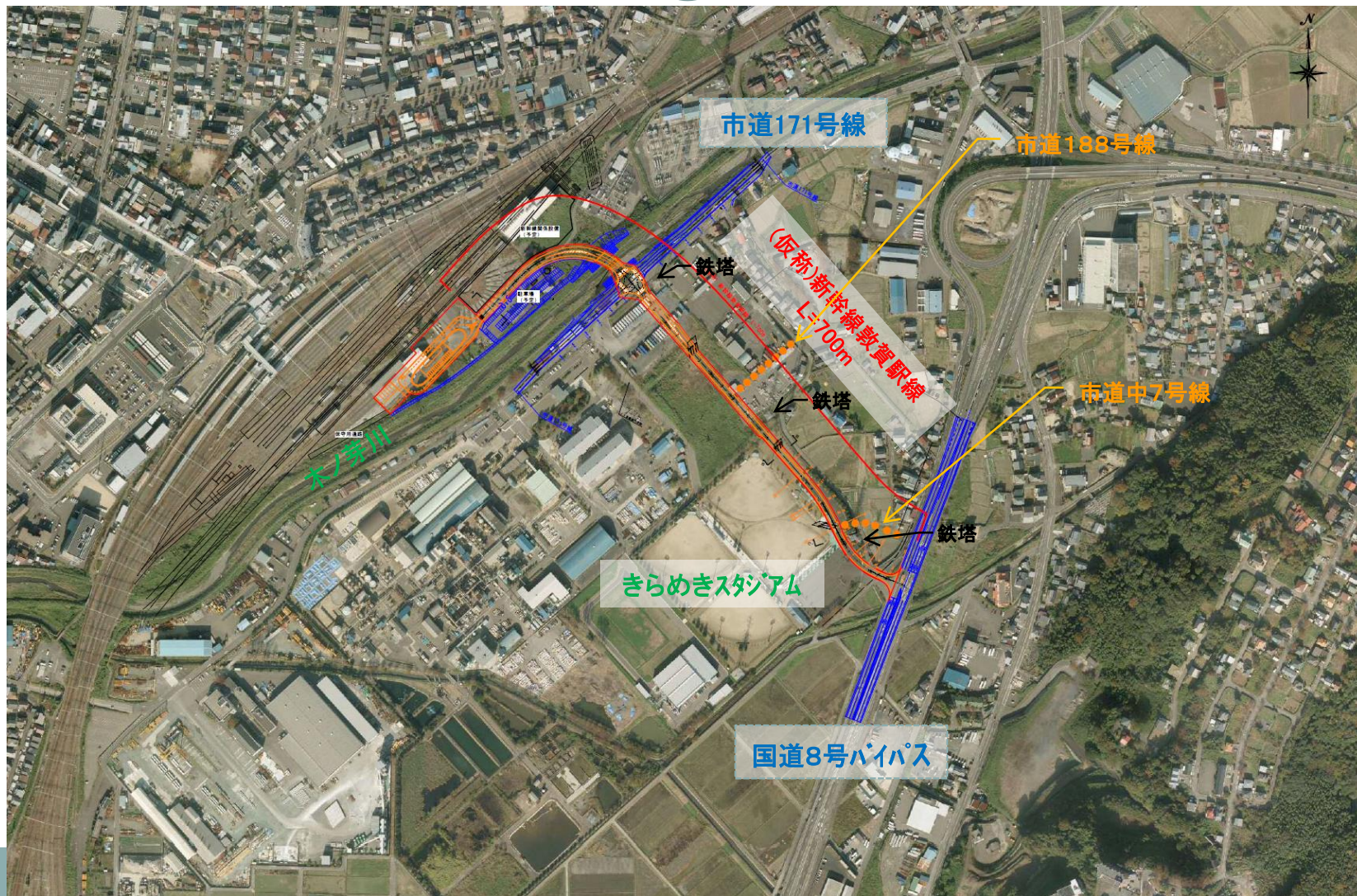


— 今回都市計画決定する範囲



3 道路計画

9

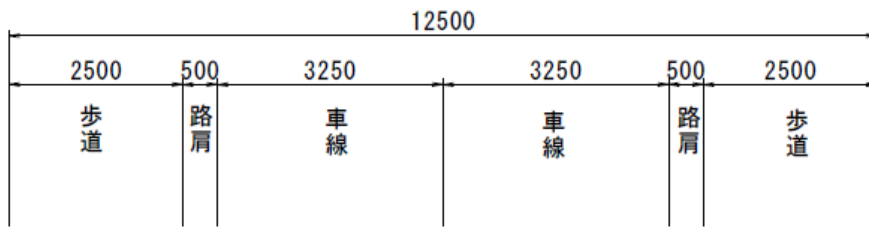


3 道路計画

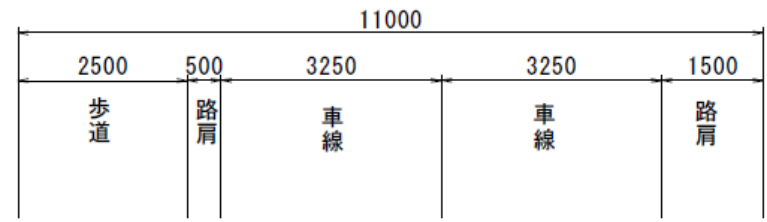
10

(4) 道路幅員構成

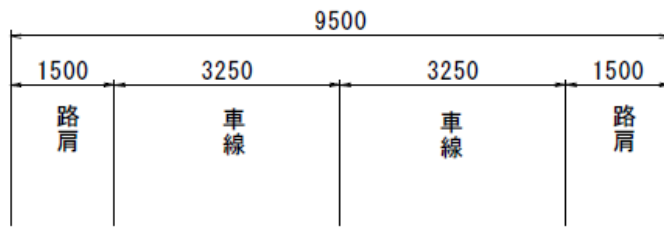
- ▶ 新幹線駅前広場からきらめきスタジアムまで歩道を設置するとともに、きらめきスタジアムの駐車場残地を歩行空間に活用する。(A、B断面)
- ▶ 歩道を設置しないところは、歩行空間や堆雪帯を考慮して幅広の路肩とする。(B、C断面)



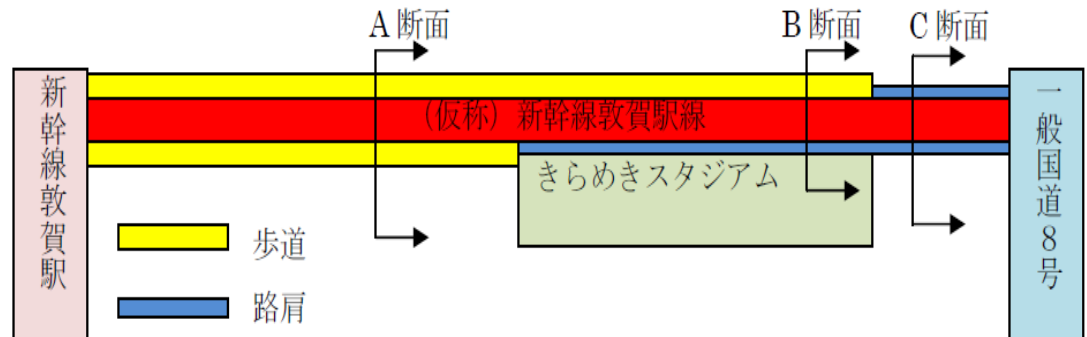
↑ 幅員構成 (A断面)



↑ 幅員構成 (B断面)



↑ 幅員構成 (C断面)



3 道路計画

11

(5) 道路縦断計画

- 起点は新幹線駅前広場の高さ、終点は国道8号バイパスの高さと合わせる。
- 市道171号線と平面交差させる。(北側の交差点までは概ねレベルで取付け、交差点より南側は～7%の勾配で取付ける。)
- 国道8号バイパスから320m程度は、現地盤高程度の道路高とし、そこから木ノ芽川に向かって縦断勾配5%程度で高くしていく。

